

気仙沼管内の宮城県公所が取り組んだ事業を定期的に紹介します。

大島青年龍宮会が宮城県青年・女性漁業者交流大会に出場！（水産漁港部）

宮城県、宮城県漁業協同組合青年部及び宮城県漁協女性部連絡協議会では、県内の漁村青壮年・女性グループの日頃の実践活動の発表及び討議を通じて、漁業・漁村の活性化に関する技術・知識の研さんを図るため、「宮城県青年・女性漁業者交流大会」を毎年開催しています。

通算65回目となる今大会は令和2年8月24日（月）、宮城県石巻合同庁舎で開催されました（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加は発表者及び審査員のみ）。

当日は、県内から4つのグループ（青壮年グループ×3、女性グループ×1）が出場し、管内からは大島青年龍宮会が「龍宮会『島おこし』の流儀～ヒトと島とを繋ぐ架け橋となれ～」と題して、全国からの復興支援に対するお礼等の取組みを発表しました。発表後は取組みへの質問や意見交換が活発に行われ、審査の結果、大島青年龍宮会は優秀賞を受賞しました。



大会の様子



授賞式の様子

一般県道大島浪板線の一部区間の供用を開始しました。

（気仙沼土木事務所）

宮城県では、東日本大震災からの復興のリーディングプロジェクトの一つとして、本土と大島を結ぶ大島架橋事業を進めています。

事業区間のうち、令和2年10月5日（月）より、一般県道大島浪板線の国道45号から浪板橋までの区間の供用を開始しました。

本区間の開通により、国道45号と一般県道大島浪板線が直接接続し、大島方面と通行の利便性が一層高まります。なお、大島架橋事業は現在工事中の浦の浜工区を含む全線8kmの完成を目標に事業を進めておりますが、同じく今年度内を目標に国が整備を進めている三陸沿岸道路のインターチェンジと接続されることにより、救急医療や災害時の安全安心が確保されるとともに、物流の効率化が期待されます。



今回の供用区間 L=1.0km



国道45号接続付近の状況



大島方面を望む（浪板橋付近）